

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ 侵襲性インフルエンザ菌感染症の報告が1例(70歳代女性)あり、症状は肺炎、菌血症で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は3例となりました。
- ・ 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が3例(70歳代2例及び90歳代1例、いずれも男性)あり、症状は発熱・肺炎・菌血症等で、感染地域はいずれも国内です。本年の累積報告数は56例となりました。
京都市では、「高齢者肺炎球菌ワクチン」を定期予防接種として実施しています。詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○高齢者肺炎球菌ワクチンの定期の予防接種について(健康安全課ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/00001751591.html>
- ・ 梅毒の報告が1例(20歳代女性)あり、症状は硬性下疳・鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)で、感染地域は国内、感染経路は性的接触(異性間)です。本年の累積報告数は63例となりました。
梅毒の感染経路や治療、予防等に関しては、下記ホームページを御覧ください。
○厚生労働省「梅毒に関するQ&A」
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆ 今週のトピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 5例(肺結核 3例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例
【1月以降の累積報告数 309例(肺結核 161例, その他結核 52例, 潜在性結核感染者 96例)うち喀痰塗抹陽性 81例】
- ・ 五類:侵襲性インフルエンザ菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 3例】
- ・ 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 3例【1月以降の累積報告数 56例】
- ・ 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 63例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

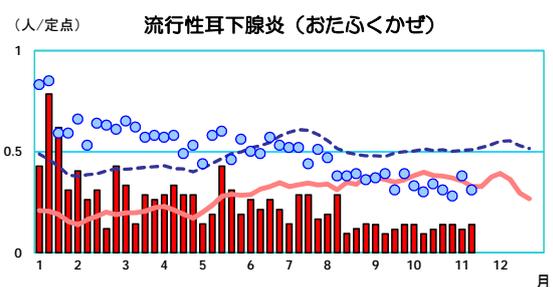
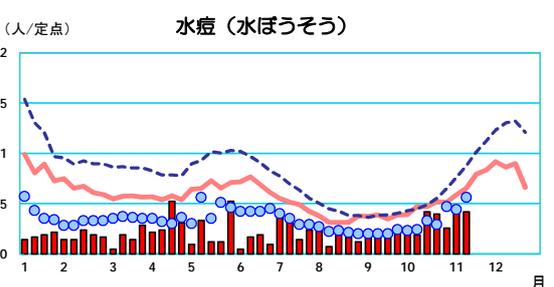
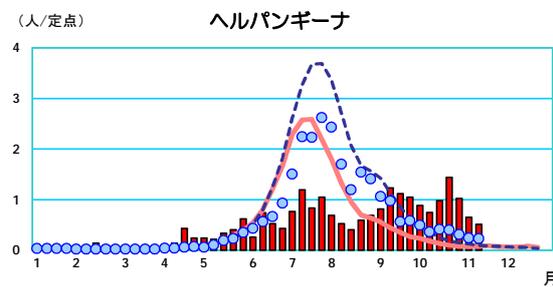
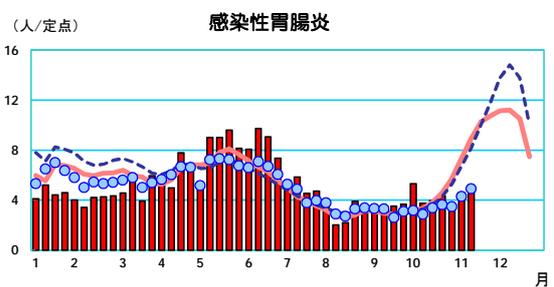
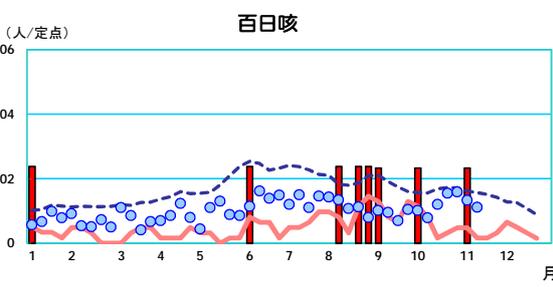
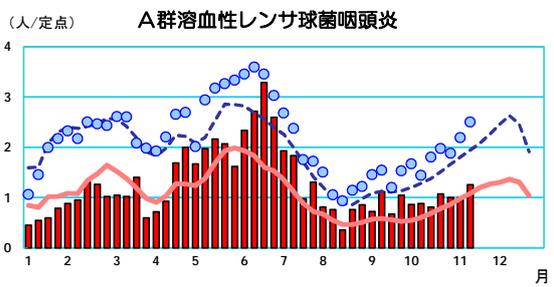
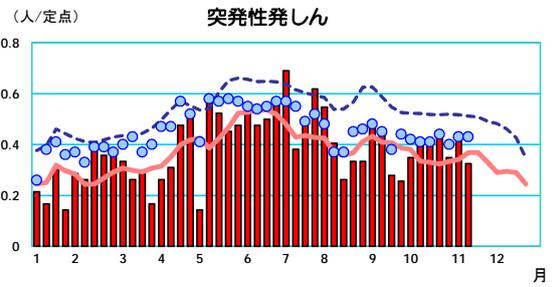
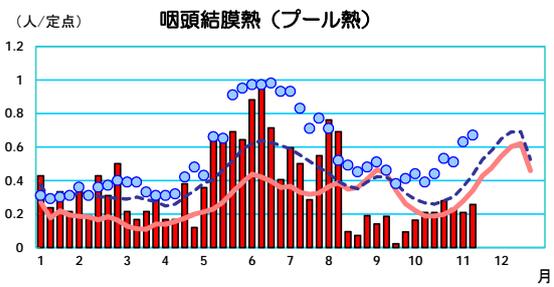
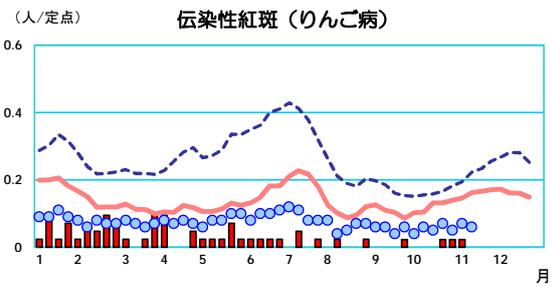
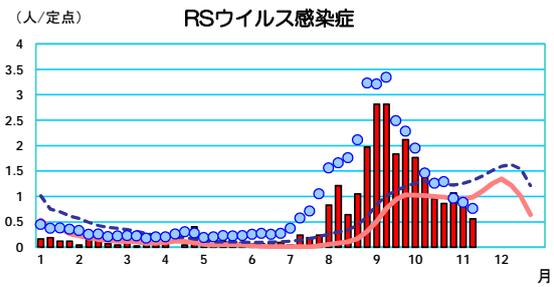
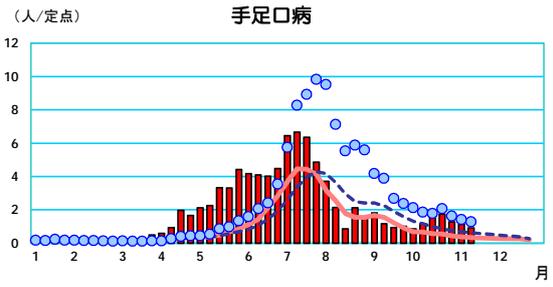
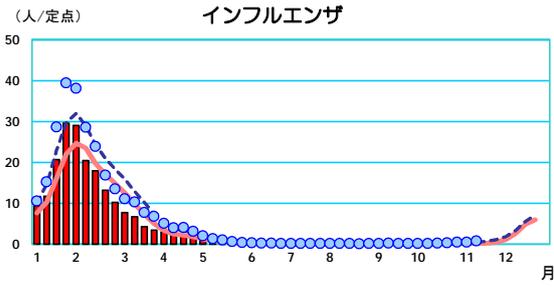
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 26	18
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4. 91	211
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1. 26	54
	③ 手足口病	0. 91	39
	④ RSウイルス感染症	0. 56	24
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 51	22
眼科	流行性角結膜炎	0. 40	4

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<後天性免疫不全症候群>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年11月24日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第46週(11月13日～11月19日)トピックス: <後天性免疫不全症候群>

京都市では、厚生労働省のエイズ動向委員会の発表に合わせて、毎年四半期ごとのAIDS患者・HIV感染者数を公表しています。本市では、平成29年7月から9月までの間、AIDS患者* 4例、HIV感染者** 3例の計7例の報告がありました。(平成29年11月28日15時以降に公表 下記URL参照)

昭和62年以降の累積報告数は316例(AIDS患者 105例(33.2%)、HIV感染者211例(66.8%))となっています(表1)。推定感染経路では、性行為感染が242例で、全体の76.6%を占めています(図1)。特に、同性間の性行為感染が141例と最も多く、全体の44.6%を占めています。診断時の年齢階級別では、20歳代～30歳代の若年層が約6割を占めています(図2)。

京都市では、各保健センターで実施していた昼間検査を、平成29年4月から、利便性が高く、利用者の多い下京保健センターに集約化し、週4回実施するとともに、夜間検査を月2回から毎週実施、医療機関で委託実施している土曜検査を月2回から、土日検査として月4回に増やしました。さらに、これまで昼間検査のみで実施していた性感染症検査を夜間・土日検査でも実施するなど検査の充実を図りました。早期発見により感染の拡大防止に結びつくことから、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に御利用ください。

* AIDS患者 : AIDSと診断されて発生が届けられたもの(すでにHIV感染者として報告されているものがAIDSを発症する等病状に変化を生じた場合は除く。)

** HIV感染者 : HIVに感染し、無症候性キャリアとして報告されたもの、または何らかの症状はあるがAIDSの診断基準を満たさないもの

【エイズ患者・HIV(エイズウイルス)感染者数について(京都市広報資料)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/menu3/category/36-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

【京都市のHIV検査について(平成29年度から検査体制を変えました。)】

○<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000047908.html>

表1 年次別報告数の推移(京都市)

報告年	総数	AIDS患者	HIV感染者	男	女
昭和62年～平成24年	238	78	160	220	18
平成25年	19	5	14	18	1
平成26年	15	4	11	12	3
平成27年	14	6	8	14	0
平成28年	16	5	11	16	0
平成29年1～9月 (再掲 7月～9月)	14	7	7	13	1
	(7)	(4)	(3)	(6)	(1)
総計	316	105	211	293	23

図1 京都市の推定感染経路別の報告割合(昭和62年～平成29年9月)

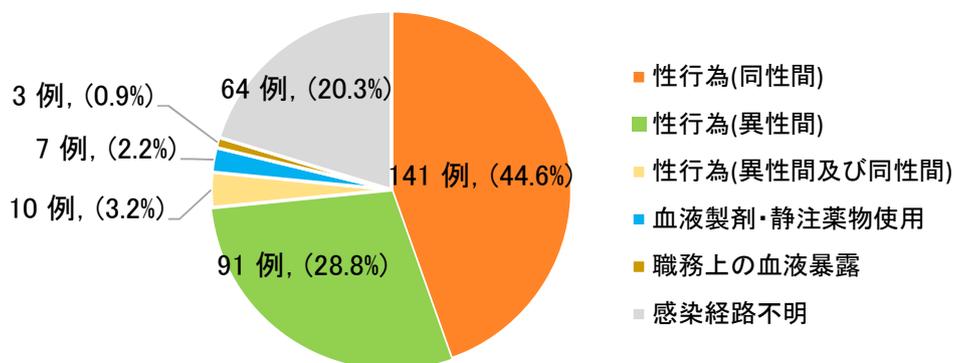
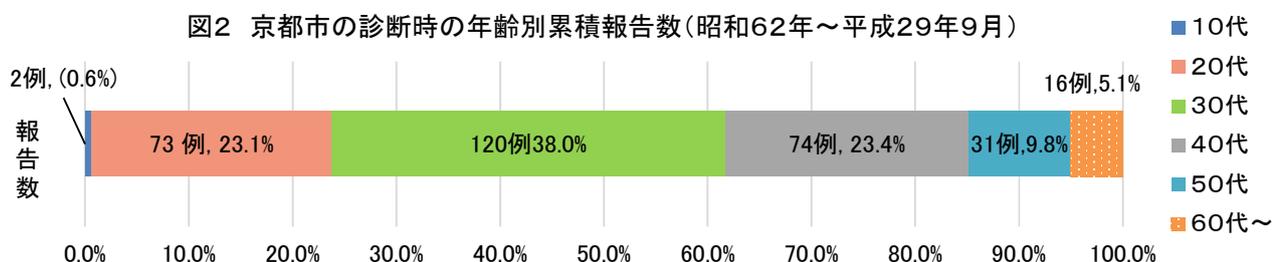


図2 京都市の診断時の年齢別累積報告数(昭和62年～平成29年9月)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第46週

疾病,行政区別報告数

平成29年11月13日～平成29年11月19日

データ入手日:平成29年11月24日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
北	-	2	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	3	1	4	70	1	4	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	1	-	3	20	-	4	-	-	-	2	-	-	-	-	1	1	-	-
東山	1	2	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	4	1	9	4	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	1	-	5	9	5	4	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	3	4	2	12	19	2	8	-	5	-	5	3	-	1	-	-	-	-	-
伏見	1	5	5	11	47	7	7	-	6	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	13	2	2	8	23	3	10	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	18	24	11	54	211	18	39	-	14	-	22	6	-	4	-	1	1	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	0.50	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
北	-	0.50	-	-	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-
上京	-	-	-	0.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	0.75	0.25	1.00	17.50	0.25	1.00	-	0.25	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
中京	-	0.33	-	1.00	6.67	-	1.33	-	-	-	0.67	-	-	-	-	1.00	1.00	-	-
東山	0.33	1.00	-	-	7.00	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	-	0.80	0.20	1.80	0.80	-	0.20	-	0.20	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	-	0.33	-	1.67	3.00	1.67	1.33	-	-	-	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	0.38	0.80	0.40	2.40	3.80	0.40	1.60	-	1.00	-	1.00	0.60	-	1.00	-	-	-	-	-
伏見	0.09	0.71	0.71	1.57	6.71	1.00	1.00	-	0.86	-	1.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	1.63	0.40	0.40	1.60	4.60	0.60	2.00	-	0.20	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	0.26	0.56	0.26	1.26	4.91	0.42	0.91	-	0.33	-	0.51	0.14	-	0.40	-	1.00	1.00	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第46週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年11月13日～平成29年11月19日

データ入手日:平成29年11月24日

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	18	-	-	-	2	1	1	1	-	-	3	-	7	1	1	-	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	24	8	6	6	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		11	-	1	3	3	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		54	-	-	1	4	9	6	5	7	2	7	5	6	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		211	1	23	33	24	16	20	15	14	6	6	7	20	9	17	-	-	-	-	-	-
水痘		18	2	-	-	1	-	-	-	3	-	4	1	3	4	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		39	1	1	15	6	10	1	1	2	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		14	-	4	8	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		22	-	4	5	6	3	1	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		6	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.26	-	-	-	0.03	0.01	0.01	0.01	-	-	0.04	-	0.10	0.01	0.01	-	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.56	0.19	0.14	0.14	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.26	-	0.02	0.07	0.07	0.07	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.26	-	-	0.02	0.09	0.21	0.14	0.12	0.16	0.05	0.16	0.12	0.14	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.91	0.02	0.53	0.77	0.56	0.37	0.47	0.35	0.33	0.14	0.14	0.16	0.47	0.21	0.40	-	-	-	-	-	-
水痘		0.42	0.05	-	-	0.02	-	-	0.07	-	0.09	0.02	0.07	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.91	0.02	0.02	0.35	0.14	0.23	0.02	0.02	0.05	-	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.33	-	0.09	0.19	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.51	-	0.09	0.12	0.14	0.07	0.02	-	0.05	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.14	-	-	-	-	-	0.02	0.05	-	0.02	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.10	0.20	-	-
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	1.00	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	
クラミジア肺炎(※3)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第46週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年11月24日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	22	15	13	10	13	18
RSウイルス感染症	62	41	37	46	35	24
咽頭結膜熱	9	9	12	10	9	11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	38	35	46	43	43	54
感染性胃腸炎	161	170	187	140	198	211
水痘	8	18	17	11	18	18
手足口病	50	84	75	55	48	39
伝染性紅斑	-	-	1	1	1	-
突発性発しん	17	18	19	15	18	14
百日咳	-	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	32	42	62	44	28	22
流行性耳下腺炎	4	5	6	6	5	6
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	2	1	4	1	3	4
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	405	438	479	382	420	423

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1	0.32	0.22	0.19	0.14	0.19	0.26
RSウイルス感染症	1.44	0.95	0.86	1.07	0.81	0.56
咽頭結膜熱	0.21	0.21	0.28	0.23	0.21	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.81	1.07	1.00	1.00	1.26
感染性胃腸炎	3.74	3.95	4.35	3.26	4.60	4.91
水痘	0.19	0.42	0.40	0.26	0.42	0.42
手足口病	1.16	1.95	1.74	1.28	1.12	0.91
伝染性紅斑	-	-	0.02	0.02	0.02	-
突発性発しん	0.40	0.42	0.44	0.35	0.42	0.33
百日咳	-	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	0.74	0.98	1.44	1.02	0.65	0.51
流行性耳下腺炎	0.09	0.12	0.14	0.14	0.12	0.14
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.20	0.10	0.40	0.10	0.30	0.40
細菌性髄膜炎 ※2	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	1.00
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	1.00
クラミジア肺炎 ※3	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4	-	-	-	-	-	-
合計	9.38	10.13	11.33	8.87	9.88	11.94

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。